



# 死亡労働災害が多発しています

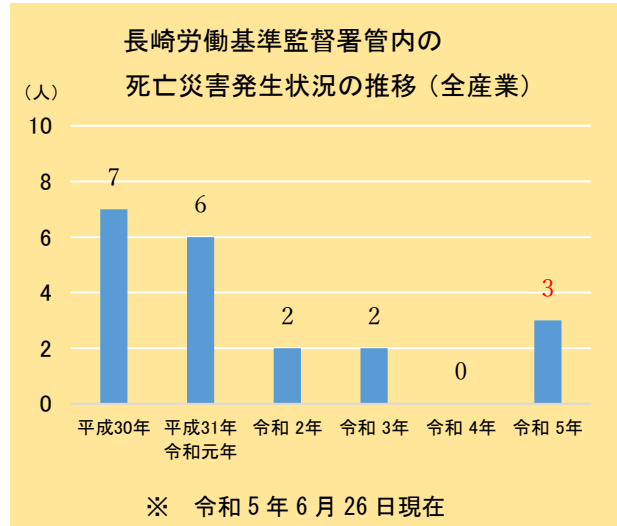


安全衛生活動の取り組み強化をお願いします



長崎労働基準監督署管内では、各方面のご協力を得て、昨年は死亡災害ゼロ（新型コロナウイルス感染症関連を除く）を実現することができましたが、本年は6月26日現在で、残念ながら、すでに3名もの尊い命が労働災害によって失われました。

管内の事業者様におかれましては、今一度、自社の作業内容・環境を見直していただき、労使一丸となって死亡災害の根絶に取り組んでいただきますようお願いいたします。



## 令和5年1月以降に長崎労働基準監督署管内で発生した死亡災害の概要

いつ	だれが	どこで	何をしていた	どうなった	イメージ
2月	50歳代の作業員が	工場内で	新造船の中で溶接作業を行っていたとき	作業箇所の下面が爆発し、その付近で倒れ、死亡した。	
5月	50歳代の作業員が	伐採工事現場で	高所作業車に搭乗し、立木の枝打ち等を行っていたとき	地上高さ約10mより墜落し、死亡した。	
6月	50歳代の作業員が	工場内で	設備のメンテナンス作業をしていたとき	点検設備の奥のすき間に落ちているのを発見され、その後死亡が確認されたもの。	

※ 概要及びイメージの内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。